


講座紹介

講座名	<p>「宇宙で使える素材を知ろう」 by 円陣スペースエンジニアリングチーム</p>	
内容	<p>鉄やアルミニウム、ゴム、プラスチック、木など私たちの生活を支えるものはいろんな素材でできています。しかし、厳しい環境の宇宙ではいったいどんな素材が使えるのでしょうか？この講座ではそれぞれの素材の違いを知って、宇宙向けの素材の扱いについて詳しく学びます。人工衛星を開発する先進の技術をもったエンジニア集団が講師なので、開発現場の様子をぜひ色々聞いてみよう。講座の最後には金属プレートでできた特製の受講認定書が渡されます。</p>	
日にち	<p>1回目 2021年1月3日(日) 2回目 2021年2月14日(日)</p>	
時間	<p>14:00～(講座は約45分)</p>	
対象	<p>1回目 小学校高学年～中学生(推奨) 2回目 中学生～高校生(推奨)</p>	
定員	<p>18席</p>	
講座料	<p>無料(展覧会へご入場されている方が対象です。講座のみは受けられません。)</p>	
参加方法	<p>事前予約制 ※ 予約フォームから事前にお申込みをお願いします。 ※ 新型コロナウイルス感染予防のため、当日はマスク着用、手指の消毒のご協力をお願いいたします。講座の前に検温をさせていただきます。体調のすぐれない方はご来場をお控えください。</p>	
講師	<p>NPO 法人円陣スペースエンジニアリングチーム (e-SET) ＜講師メンバー＞ 中川 知也 (マルナカゴム工業代表)、津留崎 泰兆 (有限会社津留崎製作所代表取締役)、木曾 一雄、古澤 正剛 (有限会社テック ACS 代表取締役)、松原 信幸 (有限会社松原産業代表取締役)</p>	
会社紹介		<p>地元の産業を盛り上げたいという想いを強く持つ久留米・筑後地域のものづくり企業の若手が集まり、当時まだ挑戦する企業が少なかった「宇宙開発」で新しいビジネスチャンスの可能性を求めて生まれたのがNPO法人「円陣スペースエンジニアリングチーム(e-SET)」です。2009年から九州大学等の衛星開発プロジェクトに参加しながら着実に宇宙に通用する技術を磨き続けている、QPS研究所の小型レーダー衛星の開発に欠かせないトップエンジニア集団です。</p>